

会 議 録

会 議 の 名 称		令和7年度（2025年度）第1回豊中市学校教育審議会		
開 催 日 時		令和7年（2025年）5月9日（金） 19時00分～19時45分		
開 催 場 所		豊中市役所第二庁舎3階 大会議室	公 開 の 可 否	☒ 可・不可・一部不可
事 務 局		教育委員会事務局 学校教育課	傍 聴 者 数	3人
公 開 し な か っ た 理 由				
出 席 者	委 員	榎本委員、柏木委員、北川委員、塩谷委員、 高木委員、濱元委員、大岡委員、小林委員		
	事 務 局 そ の 他	岩元教育長、森山事務局長、中尾教育政策監、堤理事、花山次長、田上次長、 桑田学校施設管理課長、込山児童生徒課長、本田地域連携課長、西口読書振興 課長、津田学び育ち支援課主幹、倉田教職員課長、松田教育センター所長、小 渡学校教育課長、河村主幹（小中一貫教育担当）、佐加主幹（学びの多様化担 当）、亀田主幹（計画担当）、石村課長補佐、森田主事、溪口、河田東丘小学 校長、田辺北丘小学校長		
議 題		1. 議 案 豊中市立第八中学校区における中学校併設型小学校・小学校併設型 中学校の学校運営のあり方について 答申		
審 議 等 の 概 要 (主な発言要旨)		別紙のとおり		

● 開会

● 成立要件の確認

● 議案 豊中市立第八中学校区における中学校併設型小学校・小学校併設型
中学校の学校運営のあり方について 答申

会長：議案について、事務局より説明いただきたい。

事務局：参考資料 2 について説明

会長：ただいまの内容で答申してよろしいか。

（異議なし）

会長：令和 5 年（2023 年）11 月 1 日付で諮問された、豊中市立第八中学校区における中学校併設型小学校・小学校併設型中学校の学校運営のあり方について、別紙（参考資料 2）のとおり答申します。

（答申を手交）

会長：皆さま、長期にわたりご議論いただきありがとうございました。これまでの議論を振り返り、今後の参考のために、委員の皆様からの感想等を、頂戴できればと思う。

A委員：本審議会では様々な議論が行われ、学校の現場では学園制に向けた連携が進み、課題も見えてきたと思う。今回の審議会の議論は、これから小中一貫教育を進める学校で参考にさせていただけると思うので、皆さまのお役に立てたと感じる。小中一貫教育を実際に学校の現場に導入する際には、色々な困難もあるかと思うが、時間がかかっても豊中市として推進していただきたい。

B委員：今後豊中市では学園制を全市的に導入されると思うが、是非今回の第八中学校区での学園制導入が市内、ひいては全国のベンチマークにされる取組みとなってほしい。少子高齢化が進み、人口が減るなか、他市と切磋琢磨し、豊中市の教育を資産と捉えながら、教育先進都市として、子育て、教育をリードしていく市となっていきたい。また、小中一貫の取組みが、豊中市の学校で積み上がり、公立学校の取組の推進につながればよいと思う。

C委員：本審議会には市民委員として参加し、大変貴重な機会であった。教育の現場は、自分や自分の子どもの体験を通じ、学校の先生方が非常に大変だという思いがあったが、今回、会議に参加させていただいて、学校、役所、審議会委員のこれだけの声が子どもたちの幸せを願って動いていることを教えていただいた。

D委員：幼児教育の立場から本審議会に参加した。今回の議論をふまえ、小中9年間のフレームワークが出来たが、最終的に子どもたちが心から9年間の教育が受けられて良かったと思える形で進んでいったらよいと思う。小学校入学前の、幼稚園・保育所・こども園の部分と、小中学校の義務教育の幹の部分、その上に伸びた高校の部分の繋がりが重要であり、これからもきっちりと、それぞれの連携について押さえていただきたい。

E委員：委員の皆様の議論をふまえ、子どものもちあじを大切にする学園づくり、小中の連携体制、探究的な学習、地域と学校の繋がりとといった点がきちんと視野に入った豊中らしい答申がまとめられた。今後小中の連携の中で地域と繋がる取組がより進められるとよいと思う。学園制を導入する過程では、第八中学校区の学校間で、タスクチームによる議論が行われてよかったが、このような過程が先生方の繋がりづくりにもなっていたと感じる。また、保・幼・小・中で繋がっていくように、今後考えていかなければならないと思う。

F委員：これまで、多くの学校、先生方と図書館教育や探究的な学習に関する授業改善に関わってきた立場でこの会議に参加した。特に心に残ったところは、学園のグランドデザインやめざす学校像・教職員像に、安定した生活を送ることができる学校をまず作っていくこと、そのためには先生方が児童生徒一人ひとりを大切にすることがはっきりと書かれていることである。これがベースになっていることは本当に喜ばしいことだと思う。

G委員：今、全国的に、義務教育学校や小中一貫校が増えてきているが、多くの場合は、少子化で学校が維持できなくなっているような地域での事例が多い。そのようななか、豊中市という都市部にある学校で、小中一貫して教育を行う方向性が打ち出され、これからに期待している。この会議に参加し、学ぶことも多く、豊中市のより一層の小中一貫教育の充実を期待したい。

会長：これまでに、委員の皆さまからたくさんのご意見をいただきありがとうございました。皆さまに支えられながら、答申を教育委員会にお渡しすることができた。豊中市の教育が今後充実、発展されることを心よりお祈り申し上げます。

教育長：令和5年（2023年）11月の諮問から約1年半にわたり活発なご議論をいただき、ありがとうございました。令和8年度に第八中学校区で、市内で初めての学園制を導入するにあたり、本答申はその土台となる。答申をベースにしながら学校現場と教育委員会がしっかり連携し、第八中学校区の実現を形あるものにしていきたい。義務教育学校と学園制の大きな2本柱で豊中市の小中一貫教育を充実させたい。

● 閉会